

PICC (末梢静脈挿入式中心静脈カテーテル) の固定方法

3M™ テガダーム™ CHGドレッシング 1658Rを使用
Argyle™ PICCキット (45cmタイプ) 尺側皮静脈から挿入・ループ固定

3つのポイント

- カテーテル刺入部位に透明ゲルパッド部分を合わせる。
- 透明ゲルパッドの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させる。
- フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付する。



動画(使用方法)のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画の視聴とあわせてご活用ください。

動画URL <http://go.3M.com/4yv7> (再生時間:2分27秒)



貼り方



1 付属の仮止めテープでカテーテルを固定します。



2 カテーテルをソフトウイングの溝にはめ込み、フィクスチャをソフトウイングの上にかぶせ、指で挟むように装着します。



3 フィクスチャの上から付属の固定用テープで固定し、仮止めテープを剥がします。



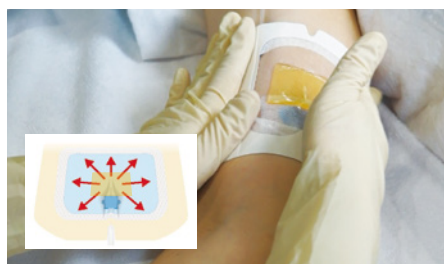
4 ライナーフィルムを剥がし粘着面を出します。粘着剤のない部分を持ち、カテーテル刺入部位に透明ゲルパッド部分を合わせます。



5 透明ゲルパッドの上からカテーテル周囲を押さえ、よく密着させます。固定力を上げるために必ず実施してください。



6 カテーテルをドレッシング内にループさせ、分岐部を含めて固定します。ループは緩やかで、肘関節の屈曲に影響しないようにご注意ください。



7 フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付します。



8 周囲をしっかりと密着させ、全体を貼付した後、フィルム部分を押しえながら、ゆっくりとフレーム部分を剥がします。



9 付属の固定用テープの切り込みを、カテーテルの下からかみ合わせるように貼付します。



10 付属の記録用ラベルに日付などを記入して、観察の妨げにならない位置に貼付します。



11 安定した粘着力を得るために、全体を皮膚に圧着します。
必要に応じ、医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)の対策を行ってください。

剥がし方



1 補強のテープ類、記録用ラベル、固定用テープを剥がします。
手袋を装着した指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。



2 カテーテルを押さえながら、透明ゲルパッドとフィルムを一緒につかんでゆっくりと剥がします。



【参考】

透明ゲルパッドが剥がれにくい時は、滅菌生理食塩水をつけながら剥がすと、剥がしやすくなります。

※本資料は使用方法の一例であり、ドレッシング材およびカテーテル等の添付文書や取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景および状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください

一般的名称：末梢静脈挿入式中心静脈用カテーテル
販売名：PICC キット
医療機器承認番号：21900BZX00862000
クラス分類：IV 高度管理医療機器

高度管理医療機器 抗菌性カテーテル被覆・保護材
届出番号：22200BZX00663000
販売名：テガダーム CHG ドレッシング

※Argyleは、Cardinal Healthの商標です。
※3M、テガダームは3M社の商標です。

3M

スリーエム ジャパン株式会社

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2021. All Rights Reserved.
CAPT-184-A(1221)IT

2021年12月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)